

「第12回 土と基礎に関する若手勉強会」を開催しました

土質基礎研究室

土質基礎研究室では、9月28日（水）に「第12回土と基礎に関する若手勉強会」を開催しました。今年は『新工法・新技術』をテーマとして北海道開発局の各開発建設部の若手技術者12名が参加し、議論が行われました。

この勉強会は、当研究室から一方的に土と基礎に関する研究成果を参加者に説明するものではありません。各開発建設部から推薦を受けた若手技術者が現場の施工事例、課題、新しいアイデアなどについて発表し、参加者全体で意見交換をするものです。

本勉強会の目的は次の3項目です。

- ① 若手技術者の技術力向上
- ② プレゼンテーション能力の向上
- ③ 若手技術者間および土質基礎研究室との交流、情報の共有化

②については最近の業務の傾向として、部局で行われている VE 検討会や簡易プロポーザルなど、対外的にディスカッションする機会が多くなったことを考慮し、発表スタイルは全員パワーポイントを使用したプレゼンテーションを必須条件としました。

発表者は、発表内容について、工法の内容、問題点、苦労したところ、現場で実施した対応策、議論したい内容をまとめ当研究室に提出します。それを全発表者および当研究室の担当者が事前に目を通し、質問や意見を提出します。発表者はその意見をもとに発表内容を組み立て発表に臨みます。したがって、この時点で自分のテーマについてかなり理解が深まっているはずですが、勉強会当日は発表に対して、素朴な質問や手厳しい質問が浴びせられ、発表者と土質基礎研究室担当者を含めた参加者で議論が行われました。

今年は、初めての試みとして、優れた発表を行った発表者を表彰することにしました。これは、発表の分かり易さや質疑に対する応答などを審査し、今後の発表技術の向上につながることを期待するものです。審査は土質基礎研究室の研究員が行いました。表彰者は以下のとおりです。

○最優秀賞（1名）

網走開発建設部 遠軽道路事務所 島影 和也

○優秀賞（2名）

旭川開発建設部 旭川道路事務所 本間 美和子

留萌開発建設部 遠別道路建設事業所 渡邊 周市

■プログラム

【軟弱地盤に関する研修】

「泥炭性軟弱地盤に関する最近の話題」

土質基礎研究室 林 宏親 主任研究員



写真－1 発表の様子



写真－2 質疑応答の様子

【第1セッション】

杭・法面緑化

- 1 火山灰地盤における場所打ち杭について
北見道路事務所維持課 結城 哲哉
- 2 吹付けコンクリート土留め工による深礎杭の施工について（欠席）
上川道路建設事業所 大越 健司
- 3 郷土種による法面緑化について
遠軽道路事務所工事課 島影 和也
- 4 旭川紋別自動車道における法面緑化について
旭川道路事務所第3工事課 本間 美和子
- 5 泥炭の植樹への活用
土質基礎研究室 城戸 優一郎

【研究所見学】

遠心力載荷試験室

【第2セッション】

軟弱地盤対策（配合試験・軽量／載荷盛土・補強材併用）

- 6 石灰系固化材を用いたスタビライザによる不良土安定処理について（欠席）
苫小牧道路事務所第2工事課 門間 清明
- 7 幌富バイパス軟弱地盤対策「カードボードドレーン＋補強土工法」について
遠別道路建設事業所 渡邊 周市
- 8 軽量盛土材を用いた盛土工法について（欠席）
釧路道路事務所第2工事課
堺田 慎一・前田 哲哉
- 9 安定処理土の添加材低減について
稚内開発事務所道路課 本多 貴幸・武田 光

【第3セッション】

軟弱地盤対策（地盤改良）

- 10 SAVE コンポーザーによるサンドコンパクションパイルの施工について
小樽道路事務所第1工事課 堀田 靖文
- 11 液状化対策としての TOFT 工法について
釧路道路事務所第2工事課 伊藤 誠二
- 12 GCCP 工法について
留萌開発事務所道路課 國重 啓
- 13 道央圏連絡道路（美原道路）における軟弱地盤対策工について
札幌道路事務所第2工事課 遠藤 徹

発表者のプレゼン資料は力作が多く、日頃の多忙な業務の中でプレゼンテーション能力の高さがうかがえ



写真－3 遠心力載荷装置見学



写真－4 参加者一同

ました。今回の勉強会を機会に交流が生まれ、普段の業務の中で問題点や疑問があった場合、今回参加されたメンバー同士および土質基礎研究室と気軽に意見交換が図れるようになれば幸いです。また、来年度も継続して行う予定ですので、興味がある方はぜひ参加してください。

（文責：西本 聡、橋本 聖）